

でダンボールに絵を描いて、それを貼っています。子ども達はお面を作ったりしてかぶりながら公園の中を走り回るといふ、企画をやってみました。これはちょっと大規模ですけど、昭和記念公園の地底の泉という広い場所で、ボランティアが5、60人、それも色々なグループとネットワークをして、演劇のグループの人、音楽のグループの人、それからうちのNPOの立川キッズのメンバー、または地元のボランティアの方たちということで、公園に来た子ども達を対象に、作ったり、歌ったり、踊ったり、というのを丸一日繰り返しています。

●成長するアート・柳のワークショップ

これはまた系統の違ったもので、昭和記念公園の子ども達の森の奥に1995、6年前かな、柳を使って造形物を作りました。これは2月ぐらいの寒い時にやったんですけど、みんなが植えているのは柳の枝なんです。1本1本挿し木にして設計通りに挿して作っていきます。2月なので猫柳の花がちょっと出てくるくらいかな、こういう柳の枝を挿し木をして色々な形を作りました。これはイギリス人のランドスケープアーキテクチャーの方をお呼びしてやったものに私が参加したものです。こちらの写真が何ヶ月か経ったもので、実はこれ「成長するアート」と呼んでいまして、挿し木にすると、根が張って伸びてきてだんだん植物が青々と成長してきます。作ったものがだんだん成長して緑になって、ジャングルのようになって、また枯れていってという成長するアートですね。子ども達とやるとけっこう感動があるかと思っています。

●公園の中でのワークショップ（昭和記念公園・子どもの森わんぱくクラブ）

これは「額縁ワークショップ」。額縁を自分でダンボールで作って色を塗って公園の自然の中で自分がいいなと思った景色を切り取って自分で作った額に入れるというワークショップです。

これは、「染め織りワークショップ」。2、3時間で子ども達が染めと簡単な織りができるのです。公園の中から色が出そうな草花を採ってきて、それを煮て、その中に毛糸を漬け込んで色を染み込ませて、乾かしてから織るといふ。織るといっても枠の中に毛糸を編みこんでいくだけなんですけど。編むのは木の枝を折ってその枝に毛糸をくりつけて編みこみをしています。なるべく自然のものを使ったほうが面白いかなということをやりました。

●広がっていく活動の輪

これは丹後にある、ある公園の開園イベントです。将来子ども達がこの公園で遊んでもらえるように、好きになってもらえるように、ここでアートのことを繰り返し広げようということをやったものです。ここでは野染めというのをまずやりました。野っばらで染めるということで、野染めといいますけど、子ども達が色々な色を布に描いて、布を乾かして、衣装にするんですね。午前中に染めた布を着て午後はお面を作ってそれをかぶって、変身をしてこの公園の中で遊びます。この時も劇団と組みました。自分たちだけだとあまり広がらない活動も色々なグループとジョイントしてアイデアを出してもらおうと、音楽とか演劇とか色々な方に広がっていくと思います。最後には、子ども達と劇団のグループと一緒にこの公園の中で踊りながら行進をしました。

ワークショップ「子どもの遊びの重要性体験」 内藤裕子氏・塚本純久氏 ～ネイチャー&アートで自分の感性を見つけよう～ ①

11月22日実施

◆◆導入のお話：五感遊びの大切さ／30分ぐらい

スライド等使い、五感遊びの紹介（小峰公園（八王子）、昭和記念公園（立川）等のワークショップ）

===ネイチャー & アート 野外で五感を楽しむ===

・自己紹介

子どもたちの遊びの手伝いをしている。

立川の昭和記念公園で月1～2回、子どもと「ネイチャー & アート」というテーマで自然の中でワークショップを実施している。

学生時代は、子どもの遊びの空間調査をしていた。

1995年、「立川キッズ」という自然の中でアートワークショップをするボランティアグループを結成。

現在では、NPO法人子どもと文化協議会プラッツに発展した。

アートワークショップのテーマ：「感性」

・五感遊びの紹介

五感遊びとは→子どもたちの「感性」を豊かにし脳を活性化させる。

現代の子どもたちは、テレビゲーム等屋内で遊ぶ事が多く外で遊ばないため、脳の発達バランスがくずれて感情の抑制を行う前頭葉の働きが鈍いと言われている。よって、前頭葉を五感のバランスにより刺

激で活性化させることが大切。それは自然に接することで可能になっていく。

※スライドを使って小峰公園や昭和記念公園のワークショップの様子を紹介

ワークショップの内容：カメラゲームとアート表現の様子

・カメラゲームについての説明

シャッター役とカメラ役に分かれ、カメラ役の人がシャッター役の人を自分が見せたいものの前に連れて行く。カメラ役はシャッター役の耳たぶをおし、シャッター役の方は5秒間目の前のものの様子を観察し、目を閉じる。これを何度かくり返し、自然のイメージ写真を脳の印画紙に焼きつける。

※外に移動してワークショップ開始

◆◆ワークショップ1

◆カメラゲームとネイチャーアート

A、カメラゲーム／10分ぐらい

二人一組になり、カメラゲームで自然体験をする。二人組みは、最初の1回目は知り合いどうし、2回目は知らないどうし組む



カメラゲームで自然体験

B、アート表現／20分位

アート表現は、障子紙を好きな長さに切り、カメラゲームで印象になった植物を貼り付けたりし、その上にイメージを彩色する（アクリル絵の具とハケや筆、手や指で）



ネイチャーアートを描く

◆◆ワークショップ2／40分ぐらい

◆木になろう&アート

A、木になる（10分程度）

大きめの木の幹に頭をつけ仰向けに寝転び、目をつむり木になったイメージを心の中に広げる。その後、下から見上げ木と一体になるイメージをさらに深める。

B、木のイメージを描く（30分程度）

（カメラゲームで）最後に組んだ二人組みが3つ集まり、6人で障子紙を好きなだけ広げる。そこに、感じた木のイメージを、一人1mぐらいの巾にハケや筆や手を使って描く。長い木のイメージアートができる。



感じ取ったイメージを皆で描く

ワークショップの様子

- ・二人一組にさっと別れ、それぞれ林の中に入りカメラゲームを行っていた。
- ・各ペアが、思い思いの場所で目の前にある自然の状況を目に焼き付けていた。
- ・アート表現では、写実的なものもあれば、イメージを紙全体にダイナミックに描く人もいたなど、それぞれ個性が光る作品が出来上がっていた。木の枝や葉を貼り付けるだけでなく、葉に絵の具を塗ってス

タンプのようにしたり、木の枝の切った切り口に紙をあててその上に絵の具を塗って切り口の模様を映し出したりしている人もいた。

- ・各自、好きな場所で描き始めたが、自然と輪が出来上がっていった。
- ・木のイメージでは、林の中だけではなく畑のそばの木など、各自思い思いの木を見つけ木のイメージを膨らませていた。ピンッと張り詰めた空気が漂い、それぞれの感性が研ぎ澄まされている雰囲気であった。
- ・木のイメージを描き始めると、各グループがとても個性的なやり方をしていった。声を掛け合い、イメージを共有しながら描くグループもあった。
- ・どのグループも大きく、ダイナミックな作品に仕上げていた。



自分の描いたネイチャーアートを会場に展示

===子どもの頃の遊び体験を振り返る===

◆◆ワークショップ3

<休憩した6人グループそのままテーブルについたまま／5～6人グループ>

A、OHPで、昔の子ども遊びのイラストをみせ、イメージを膨らませる（15分程）

※イラストは岐阜県おおくて宿の昔の遊びを調査したもの。ひみつ基地作りなど。

B、二人一組（できれば世代を違えて）で、遊びの体験を語り合い、お互いがメモやイラストを描く（白い紙に色鉛筆などを使って）／15分×2人ずつ

C、グループ内でお茶しながら、聞きあって面白かった遊びの話を発表しあって、世代をこえて子どもの頃の遊びの共有をする／20分位

ワークショップの様子

- ・遊び体験の話し合いでは、特に年配の人が若い人に昔の遊びについて語っていた。絵を交えることで、世代が違っても遊びのイメージはわいているようであった。

・それぞれのグループで、各々の参加者が自分の遊びについて話を進め、いろいろな遊び話がでていた。和気藹々とした雰囲気であった。

・グループによって話し合いの進行方法は違っていたが、全ての人がきちんと発言を行い話し合いに参加していた。

・お茶を飲みながらということで、全体的にリラックスした雰囲気になっており、話し合い和やかにすすめられていた。

◆◆ふりかえり

お茶を飲みながら、グループ内で今日の体験を語り合う

最後に一人ずつ、振り返りノートを書き提出

— 終了 —

※自分たちがカメラゲームで描いた絵を多目的ホールの好きなところに貼って、みんながどのような体験をしたのか共有する。また、絵にタイトルをつける。

→他の人の絵をみることで、いろいろなイメージや感性があることを認識していた。

～ネイチャー＆アートで自分の感性を見つけよう～ ②

11月29日実施

「自分が子どもの頃の遊び」を振り返りながら、先週のネイチャーアートと今日のスライド見たプログラムを参考に、各自の活動にどうつなげていくのかを考えてみよう。

30分ぐらいやりたいと思っているのですが、先週の最後に皆さんに書いていただいたアンケートの中で、時間が短かったという話がありましたね。1週間くらいかけてやるものを3時間くらいでやってしまったので、すごく消化不良になった方も多かったと思います。今日は先週足りなかった部分を少しだけ振り返って、ちょっと膨らませたいなと思って考えました。前回の、自分の子どもの頃の遊びを振り返ると言うことをしていただきながら、なおかつ、今見ていただいたものを参考にしたり、先週やっていただいた絵を描いたり、木の下に寝そべったり、そんなことを参考にさせていただきながら、皆さんの活動にどんな風に繋げていけるか、ちょっと考えていただけたらと思うんですね。A4かB4の白い紙をこれからお配りしたいと思いますので、一人一人自分の夢みたいなかんじで、絵でもいいし、文